

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月1日

事業所名 放課後等デイサービス 暖母

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	・グループ療育での活動場所の分けを行っている	・子ども達の成長で部屋をせまく感じる為、暖母内連携をしながら別事業所での活動(個別療育・移行支援)を組み入れ、活動場所を分ける。
	2	職員の配置数は適切である	6	2	・送迎と勤務表の調整を行っている	※配置数は確保できている ・職員の専門性や経験での役割を明確にしチーム力を高めていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	7	・ガイドラインに沿った「個々の子どもの状態に応じた工夫」を実施	・自事業所での意図した支援を再度周知し、理解を深める
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	・全体MTを都度行い、振り返りと目標課題の確認を行っている	・理解や問題意識に差が出ない様、新人研修や支援についての研修を行っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・自己評価アンケートの配布時期を調整し、面談でのヒヤリングにつなげていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	・事業所単位とは別に、同系列グループでの評価会議を実施している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6	・会社内部での児発管や管理者が集まり情報共有を行っている	・会社(内部)でより具体的且つ客観的評価ができる監査システムを構築する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・1人1人の職員に必要な内容の研修を紹介し、研修参加を促している	・職員の資質を丁寧に見極めながら研修後の様子を見守り、実践につなげられる様指導する
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	・年2回の面談のみでなく、都度必要に応じて電話での対応を行い情報共有に努めている ・活動時だけではなく、学校送迎時には学校での様子の確認を積極的に行っている	・職員の理解度に差がでないよう、日々のMTで明確なアセス場面と記録内容のポイントを提示する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4		・保護者からの検査記録の共有に加え、今後積極的に研修に参加しアセスメントに基づく支援につなげていく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・毎月チーム全体で立案、検討を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	・曜日での活動プログラムを実施。 ・繰り返すことでの達成感や成果を自信につなげている	・自己選択の場面を増やししながら一人一人が自分のスケジュールを組み立て、家庭へ汎化できる様支援していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		・長期休暇前にカンファを行い、療育内容の確認や支援の統一を行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		・振り返りに加え、日案をもとに当日の役割も確認している	・職員の理解度に差がでないよう、日案をもとに日々のMTで明確なアセス場面と役割内容を提示する
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	・送迎の兼ね合いで基本的に翌日のMTで行っている。 ・緊急の場合は当日に行っている	・支援中一人で判断が出来ない際の確認を常にチームでできる環境を整える	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			<ul style="list-style-type: none"> ・記録のポイントの理解を統一していく為、MTで課題に対するアセス内容を明確にする ・客観的視点での記録シートを作成する
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8			<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの理解を深める研修を行う

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		・児発管と児発代理で対応している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	5	・必要な際に親御さんを通して主治医との連絡体制がとれる様にしている	・かかりつけ医の確認を定期的に行う ・事業所の最寄りの各診療科目・診療時間・曜日を把握しておく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	3	・必要な情報を共有できる様準備している	・今後対象となる児童がいる為、準備を整えておく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8		・公園や外出先での交流を積極的に行っていく ・地域だよりなどの情報収集を行う
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3	・役割別で参加をしている	・参加後の共有を丁寧に行っていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・送迎時の会話から親御さんの困りごとを汲み取り面談や具体的な相談ができる場面につなげている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8		・内部の後方支援を活用し自事業所で判断できない内容や保護者対応への助言をもらっている	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8				
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年恒例の親子レクレーションを実施している ・親御さんが役割を担ってくれる企画も増えている 	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		<ul style="list-style-type: none"> ・常に話しやすい関係性をつくり、親御さんの不安や不満を普段の会話から聞き取ることができる様に心がけている ・送迎対応の職員の調整を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・各経験に合わせた研修を行い、特定の職員に偏ることなく、チーム全体で保護者対応ができ様にしていきたい
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			<ul style="list-style-type: none"> ・同グループ内の事業所の企画行事に参加。固定の職員以外の関りなどを増やしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントに参加をすることからはじめる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	4		・契約時や面談時ではなく、親御さんの状況に合わせ、周知する段階を設けていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			・継続維持での体制訓練を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	現状いないが、対象児がいる場合は各々の把握と共に視覚的な表示を行う	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			